



《彫漆千鳥茶器》
1982年 香川県立ミュージアム蔵

音丸 耕堂

Kodo Otomaru



《彫漆溪の秋手箱》
1943年 香川県立ミュージアム蔵

展

彫漆世界

華麗なる



《彫漆月之花手箱》
1942年 高松市美術館蔵

2018年

9月15日(土)

10月21日(日)

開館時間 ▶ 9:30 ~ 19:00 (但し日曜日は17:00閉館 / 入室は閉館30分前まで)
休館日 ▶ 月曜日 (但し月曜日が祝日の場合は翌火曜日休館)
観覧料 ▶ 一般800円(640円)、大学生500円(400円)

* () 内は前売り及び20名以上の団体料金
* 前売チケットは、高松市美術館1階受付、高松市役所生協、ゆめタウン高松サービスカウンター、宮脇書店本店及び南本店にて9月14日(金)まで販売
* 身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳所持者は無料
主催 = 高松市美術館
共催 = 四国新聞社
助成 = 一般財団法人 自治総合センター



高松市美術館
TAKAMATSU ART MUSEUM

開館30周年記念

Kodo Otomaru 音丸耕堂展

「彫漆」とは、器物の表面に漆を幾重にも塗り重ねて層を作り、その上から模様を彫るもので、江戸時代末期の高松で活躍した讃岐漆芸の祖・玉楮象谷が中国の技法を研究し、確立しました。

音丸耕堂（1898-1997）は、象谷、石井馨堂ら先人の優れた技術を継承するとともに、豊かな色漆を駆使した大胆な意匠の彫漆作品を生み出した、讃岐漆芸を代表する作家のひとりです。1955（昭和30）年には「彫漆」技法で重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定されました。

耕堂の最大の特徴は、豊富な色彩表現にあります。もともと漆の色彩は、朱、黒、黄、緑、褐色の五色に限られていましたが、耕堂は新素材のレーキ顔料をいち早く取り入れ、難しい中間色や鮮やかな色漆を駆使した作品を制作しました。

本展は、高松市美術館開館30周年、そして耕堂の生誕120周年を記念し、その仕事を通覧するものです。漆による色彩の表現領域を格段に広げ、その斬新なデザイン感覚により、見る者を魅了し続ける音丸耕堂作品約60点をご紹介します。



《彫漆布袋葵文手箱》
1978年 文化庁蔵



《彫漆八仙花香合》
1950年頃
高松市美術館蔵



《彫漆銀連糸茶入》
1963年
東京国立近代美術館蔵



《堆朱板文庫 昆蟲之圖》
1928年 高松市美術館蔵



《朝顔の図彫漆宝石管》
1940年 京都国立近代美術館蔵



《彫漆紅花緑葉硯箱》
1924年 香川県立ミュージアム蔵

●音丸耕堂 略歴●

音丸耕堂は、1898（明治31）年に高松に生まれ、1910（明治43）年石井馨堂の内弟子として修業、1914（大正3）年頃独立し、この頃独学で玉楮象谷の彫漆作品を研究しました。1921（大正10）年に彫金家の大須賀喬らと香風会を結成し展覧会を開催するなど、漆芸作家として精力的に活動。1932（昭和7）年に第13回帝展に初入選後、入選を繰り返し、1942（昭和17）年第5回新文展で《彫漆月之花手箱》（高松市美術館蔵）が特選となりました。1955（昭和30）年重要無形文化財保持者（彫漆）に認定され、また同年に日本工芸会の創立に参加するなど、日本の工芸界に多大な影響を与えた作家として知られています。

関連イベント

お問い合わせお申し込みは
高松市美術館(TEL:087-823-1711)まで

講演会

(どちらも申込不要・30分前より開場／1階講堂／入場無料／定員:先着80名)

記念講演会1

「弟子たちから見た音丸耕堂」

9月15日(土)13:30～15:00
講師:北岡省三(漆芸家)

記念講演会2

「音丸耕堂作品の修復報告と文化財修復の重要性について」

10月7日(日)13:30～15:00
講師:松本達弥(漆芸家)

アートで遊ぼう!

10月6日(土)9:30～11:00
講師:当館学芸員
3階講座室／対象:小学生／定員15名／無料／要電話予約(9月16日(日)8:30～)

ミニコンサート

「Un tableau de laque japonais ～一枚の漆絵から～」

10月6日(土)13:30～14:00
1階エントランスホール／無料／申込不要
演奏曲目:C.ドビュッシー／映像第2集、クラリネットのための第1狂詩曲ほか
協力:香川大学

ギャラリートーク

学芸員:10月6日(土)14:30～
ボランティアcivi:会期中毎日曜日・祝日11:00～、14:00～
(但し9月30日(日)は11:00～、15:15～、10月7日(日)は11:00～のみ)
2階展示室／無料(要観覧券)／申込不要

友の会スペシャルイベント

「菓子木型で作る和三盆干菓子ワークショップ」
9月22日(土)13:30～15:00
講師:上原あゆみ(豆花)
中2階ロビー／定員20名／会員500円、一般1,000円／要電話予約:友の会 会員(8月23日(木)8:30～) 一般(8月30日(木)8:30～)

■同時開催:

第2期常設展 9月24日(祝・月)まで
第3期常設展 9月29日(土)～12月24日(祝・月)

井上涼 歌う美術館

・特別展示 9月29日(土)～10月8日(祝・月)
・コンサート 9月30日(日) 14:00～15:00

詳細についてはホームページを御確認ください。

■次回展:

「起点としての80年代」
11月3日(祝・土)～12月16日(日)

■高松市美術館・高松市塩江美術館共通定期観覧券 (年間パスポート)

パスポート3,000円(65歳以上1,500円)／購入日から1年間
高松市美術館及び高松市塩江美術館の特別展・常設展を何度でも楽しめる!



《交通のご案内》

JR四国▶JR高松駅下車、南へ徒歩約15分
ことでん▶丸亀駅、片原町駅下車、徒歩約10分
バス路線▶(ショッピング・レインボー循環バス)紺屋町バス停下車、徒歩約2分(まちバス)丸亀町参番街下車、徒歩約3分(高速バス)県庁通り下車、徒歩約8分
駐車場▶美術館地下に公営駐車場(有料、乗用車144台収容)

■高松市美術館サポートショップ

美術館周辺のサポートショップへ特別展の半券を持っていくと、お得な特典が受けられます。
※特別展会期中のみ

TAKAMATSU ART MUSEUM
高松市美術館

〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4
TEL:087-823-1711 FAX:087-851-7250